

子どものこころ専門医研修施設群説明書

■ 研修施設群の名称		大阪公立大学医学部附属病院神経精神科 子どものこころ専門医研修	
■ 研修統括責任者	氏名	後藤 彩子	
	所属	大阪公立大学大学院 医学研究科 神経精神医学	
■ 担当者	氏名	後藤 彩子	
	所属	大阪公立大学大学院 医学研究科 神経精神医学	
	住所	〒545-8585 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-4-3	
	TEL	06-6645-3821	
	FAX	06-6636-0439	
	E-mail	d21114n@omu.ac.jp	
■ 募集定員	2 名		
■ 募集・採用方法	書類の送付先	〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3	
	応募方法	郵送	
	締め切り	未定	
	問い合わせ先	06-6645-3821	
	採用判定方法	履歴書等記載内容と面接結果に基づき厳正な審査を行い、採用の適否を判断します	

■ 研修施設群の特徴

大阪公立大学医学部附属病院は32診療科980床を有し、神経精神科は本邦トップクラスの年間外来新患者数を有する大規模な都市型精神科医療機関である。精神科外来では、多彩な児童期精神障害を診療しており、小児科や女性診療科との連携が密であるため、精神科の枠にとらわれない、豊富な臨床経験を積むことが可能である。また38症の精神病床を有しており、神経性やせ症をはじめとする重症児童青年期精神障害や子どものこころの問題の入院治療にも対応している。加えて、小児科病棟へのリエゾン・コンサルテーションの実績も豊富である。専攻医は外来および入院患者の主治医となり、指導医のスーパーバイス下で看護職、心理職、精神保健福祉士とチームを組み、多彩な児童精神障害および子どものこころの問題への対応に取り組みながら研鑽を積むことができる。また指導医は、児童相談所や精神保健センターの嘱託医や学校医を長年担当しているため、医療の枠を超えた児童福祉、精神保健、学校メンタルヘルスなどの他領域についても学ぶことが出来る。

小児科とは定期的な研究会やカンファレンスを共同実施しており、大阪府内の児童精神科機関が一同に会する研究会も本院が中心となり、長年実施している。また大学病院という強みを生かし、児童精神医学領域の臨床研究を継続的に実施している、国内外の学会参加や発表、論文作成を指導・支援する体制を整えている。

また連携施設である三国丘病院は、長年の児童精神科診療の実績があり、多彩な精神症状および行動問題を抱えた幼児から小・中・高校生が多数受診しており、外来治療だけでなく、入院治療にも対応できる病院である。これらの基幹および連携施設において、子どものこころ全領域を十分に経験することが出来るのが本プログラムの特徴である。

■ 連携施設

三国丘病院<A>